

NEWS

誰がいつ決めた

鷺沼駅前再開発

No.1 2021年2月10日発行
鷺沼駅前再開発を考える会
連絡先 藤田 宏
☎090-6034-7686
〔部内資料〕

鷺沼再開発計画の見直しに1年～1年半

運動発展のチャンス

川崎市議会まちづくり委員会が2月4日開かれました。このなかで、東急（鷺沼駅前再開発準備組合）側から川崎市に対し、コロナ危機にかかわる計画見直しに要する期間が1年～1年半必要だという申し入れがあったことが明らかになりました。

前号でも紹介したように、国土交通省は、「コロナ危機を契機とした街づくりの方向性」を公表し、コロナ後の街づくりは、①オープンスペースの確保、②職住近接ニーズに対応した施設計画と機能の拡充などが必要であるとしています。

東急はこれを受けて、計画見直すを余儀なくされてきました。

1月14日の現区役所を存続し、鷺沼駅前再開発を考える会（宮前区考える会）

との交渉では、その期間を3か月程度と回答していましたが、今回の市への申入れでは、見直しの期間が1年～1年半かかるとされました。現在の計画の大幅な見直しが必要になったということです。

鷺沼駅前再開発は計画通りにいかなくなりました。住民の声を反映させる条件が広がったといえます。

これまで以上に幅広い市民に呼びかけ、運動をさらに発展させることが求められます。

第一次署名集約で6289筆に

宮前区考える会は、「鷺沼駅前再開発・タワマンの見直し、宮前区役所存続と2つの市民館・図書館、鷺沼に市役所支所を」の署名の第一次集約を2月6日におこないました。昨年11月末からの約2か月のとりくみで6289筆の書名が寄せられました。

ひとつの区で市議会にたいして6000筆を超える署名はほとんどなく、区役所

移転・鷺沼駅前再開発にたいする住民の批判がかつてなく強いものであることが明らかになりました。

宮前区考える会は、2月24日を第2次集約日として1万名署名を達成し、市議会に25日に提出することにしています。

目標達成に向け、引き続き署名への協力をよろしくお願ひいたします。

鷺沼駅前にタワマンはいらない

今回、鷺沼駅前の再開発に関わり、タワーマンションが建設されると聞き、心を痛めています。他にも多くの友人が、タワーマンションの建設に疑問を持っています。鷺沼駅前再開発についていろいろ調べているうちに、川崎市には、タワマンなどを規制するきちんとした高さ制限がないことがわかりました。でも、高さ制限がないから、何でも建てていいということにはならないと思います。

川崎市が文化的な市街地であるために、高さ制限がきちんと決められていないことが大きな問題だと思います。川崎市や宮前区が文化的で住みやすい市街地であるために、高さ制限など、市街整備に関して遅れていることは速やかに議論を進めていただき、みんなが暮らしやすい素敵で「ミライ」に向かう川崎市、宮前区にしていただきたいです。

川崎市は、鷺沼駅前再開発組合（東急株式会社）とよく話し合っていていただき、今回の鷺沼駅前再開発にあたっては、暮らしやすい文化的な市街を計画していただきたいと思います。あわせて図書館に関してはぜひ拡充に努めていただき、子育て支援、老人介護、障害者支援などについても引き続き、心ある行政の川崎を期待しています。できるならいまのままの、静かな町であってほしいと望んでいます。（T）

投稿歓迎 鷺沼駅前再開発に関わって川崎市や再開発組合に対する意見や要望など、住民の声の投稿を歓迎します。

字数は500字程度です。「考える会」事務局の藤田宛連絡ください。（匿名可）
☎090-6034-7686